

釧路市立中央小学校 フィールド学習 1 回目 実施内容

《概要》

[日程] 2021年8月27日(金)

[参加者] 5年生児童18名

[案内] 中央小学校5年生担任、山本(公益財団法人 北海道環境財団)

[フィールド学習の目的]

- ・釧路湿原を五感で感じる。

[実施プログラムの概要]

9:10 温根内ビジターセンター駐車場到着

9:20 温根内木道での活動

11:50 トイレ休憩後、温根内ビジターセンター駐車場出発

《実施内容(記録)》

■温根内木道での活動(9:20)

温根内木道自然情報マップ(2021年8月号)を片手に、事前に学校で考えていた釧路湿原で見つきたい動植物を探しながら木道を散策。ガマを見つきたいという児童が多くいた。

○ミゾソバ、ツリフネソウ、ヤチボウズを発見

ミゾソバは牛の額に似ている珍しい葉っぱをしている。ツリフネソウは実が熟すと種がはじける。

○ヤチマナコでの体験

備え付けの棒を、まずは担任がヤチマナコに差し深さを確認。その後、数名の児童が体験。棒を入れていくと泡が出てくることや、次第に刺さりづらくなるものの、力を入れるとさらに刺さること、抜けづらくなることなどを体感。



○野鳥(カラ類)の小さな群れとの遭遇

数名の児童が小鳥を林内に見つけ、全員で野鳥がどこにいるのか探す。



○マップに記載された植物を次々と発見、木道沿いのしゃくとり虫にびっくり

自然情報マップを見ながら、ドクゼリ、ヒメカイウの実、ミゾソバ、ツリフネソウなどを発見。花の色や形だけでなく、葉の形も手がかりにな

ることを発見し、判別のコツをつかんでくる。木道の淵にいたしゃくとり虫を発見し、かわいいという児童ときもち悪いという児童に分かれる。



○低層湿原と高層湿原のおはなし

水面が見えてそこにある湿原を低層湿原といい、これから歩いていくと、水面が見えなくなり高層湿原という湿原になっていく。高層湿原はなかなか見ることができない珍しい湿原。ここ低層湿原で多く生えているススキのような背の高い草の名はヨシ。昔はアシと呼ばれていたが、何か気づく事はあるだろうか。（児童から良い、悪いのことに声）。正解。同じ植物だが名前が変わった。良い、悪いのあしともとれるので、読み方がヨシに変わったという説がある。



○哺乳類のフンを発見

フンにはいろいろなものが含まれている可能性があり体に害があることがあるため、距離をとって観察する。昆虫の足の破片が多く見られ、昆虫を食べている動物のフンであろうと想像する。

○念願のガマの花穂を発見

木道横にある花穂を触って感触を確認する。硬くもなく、柔らかくもなく、多くの児童が想像していた感触とは違う印象を持つ。ガマが群生している環境を観察し、水面がいたるところで見え、みずみずしい場所にあると児童の声。



○生き物がいた跡、生き物がいそうな場所を発見

草が倒れて道のようにになっている場所を見て、何かが歩いてついた跡だと想像する児童や、木に空いた天然の樹洞、キツツキの古巣などを見つけ、何かが住んでいるのではと想像する児童など、それぞれが様々なものを発見していく。

■高層湿原到着、休憩後、鶴居軌道跡のルートを通ってビジターセンターを目指す（10:12）

○モウセンゴケを発見

見たかったものとしてガマと同じように児童が楽しみにしていたモウセンゴケを発見。背の低い植物が多く、これまで見てきたヨシなどの高い草は



ないこと、水面は見えないことを確認し、植物が生きていくには栄養が少なく厳しい場所だからこそ、虫も栄養として生きていく食虫植物がいることを伝える。

○タヌキモの観察

捕虫囊を観察し、水草にも食虫植物がいることに驚く。透明な袋と黒色の袋があり、黒いものは既に何かを捕まえた後のもの、透明なものはこれから捕まえようとしている袋であることを確認。



○ゴキヅルを発見

ドングリのような実を発見し、割ってみると中から種が出てくることを確認。

○動物の食痕を発見

草が切り取られたように途中で切れているものを発見し、何が食べたのか想像する。ガマの大きな葉を食べられる動物は何か考えを巡らせる。

○ヤチヤナギのにおいを嗅ぐ

道沿いにある葉を手でこすり、ハーブのような匂いがすることに驚く児童。ヤチマナコ、ヤチボウズとヤチがつくものが多いことに気づき、どういった意味があるのか考える児童。ヤチとはぬめぬめしたぬかるんだ場所ということ伝えると、湿地帯、湿度が高い場所のことだと児童の声。



○エゾタヌキの溜め糞を見つけて興奮する児童

タヌキの糞があるとのサインに糞を探し見つけて興奮する。トイレの場所が決まっていて、わざわざここまで来て糞をすることを不思議に思う。



○ハネナガキリギリスを発見

散策中、ずっと聞こえるキリギリスの姿を見ようと探しながら歩いていた最中、木道でじっとしているキリギリスを発見する。



○ケヤマハンノキの葉を触ってみる

葉が多く毛で覆われていることを体感し、なぜ毛が多いのかという質問に身を守るため、ハリネズミみたいと児童の声。

○エゾトリカブトを丘陵地沿いで発見

猛毒であることから興奮する児童。

○丘陵地から流れてくる湧き水の小川で小魚を発見

水の中で何か動いたという児童の声に数名の児童が小魚を見つけようと水面の下をみつめ、小魚を発見。

■トイレ休憩後、温根内ビジターセンター駐車場出発（11：50）